

ごあいさつ

山形大学名誉教授
太田西ノ内病院 特任病院長
川前 金幸

地域医療・AI デザイン研究講座が、山形大学医学部に寄附講座として設立されてから、早くも三年の歳月が経過いたしました。この間、医学部麻酔科学講座の早坂達哉先生を中心として、AI を活用した先進的かつ質の高い研究が精力的に推進されてまいりました。その成果として、優秀論文賞の受賞、特許の取得、後進の育成など、顕著な実績が積み重ねられ、今日では本講座は、山形大学における AI 研究の重要な拠点の一つとして確固たる地位を築くに至っております。現在も、研究生および学生による研究活動が継続され、着実な発展を遂げております。

一方で、小林剛也氏（元山形県総務部長、現 財務省大臣官房秘書室長）のご指導と多大なるご尽力により、本講座の研究発表会が立ち上げられました。Web 配信とオンサイト開催を併用する形式のもと、H&K 社 早佐 仁志氏の献身的なご支援を賜り、これまで二回の開催を実現することができました。回を重ねるごとに、その内容は基礎医学的な AI 研究にとどまらず、地域医療の充実と将来像を見据えた意見交換へと深化し、実り多い議論の場へと発展してまいりました。

このような研究活動の歩みの中で、多くの関係各位より貴重なご助言とご示唆を賜り、このたびは八名の演者の先生方にご登壇いただく運びとなりました。

なお、本会は寄附講座としては最後の配信会となりますが、山形大学「やまがた社会共創プラットフォーム」のご理解とご支援のもと、発展的に継承され、名称を新たにしつつ、研究活動および発信の場は今後も継続される予定です。同プラットフォームは、地域の産業・行政・教育・金融・医療が緊密に連携し、地域課題の解決と価値の共創を通じて、Well-being の向上と地域の持続的発展を目指すことを理念としております。

近年の AI 技術の進展はまことに目覚ましく、その発展は加速度的に進んでおります。この潮流の中にあって、産・官・学・金・医の五者が連携し、新たな「気づき」「学び」「発想」を創出し、社会実装へと結実させていく持続的な体制の構築が、今まさに求められております。本会が、その一端を担う意義深い場となることを期待しております。

今回ご登壇いただく八名の演者の皆様は、それぞれの分野における第一線で活躍されている方々であります。ご講演を通じて、新たな可能性と連携の契機が生まれることを心より願っております。ぜひ、現地ならびにオンラインにてご参加いただくとともに、後日予定されておりますオンデマンド配信もご活用いただき、本会を契機として、さらなる協創と発展につながることを祈念し、私のごあいさつといたします。